

第16期決算公告

平成27年6月29日
 仙台市青葉区本町1丁目9番6号
 エイ・エム・サーティワン株式会社
 代表取締役社長 廣岡 哲也

貸借対照表

(平成27年3月31日 現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	384,858	流動負債	232,095
現金及び預金	340,303	買掛金	1,088
貯蔵品	9	1年内返済予定の長期借入金	78,149
前払費用	803	未払金	10,816
繰延税金資産	7,099	未払費用	371
未収金	31,662	未払法人税等	72,900
その他	4,981	未払消費税等	9,240
固定資産	1,524,412	預り金	37,000
有形固定資産	1,496,904	前受収益	20,080
建物	691,107	賞与引当金	2,450
構築物	23,877	固定負債	1,364,639
車両運搬具	678	長期借入金	1,322,712
工具、器具及び備品	1,529	退職給付引当金	1,365
土地	779,711	資産除去債務	6,412
無形固定資産	140	預り保証金	34,148
電話加入権	140	負債合計	1,596,734
投資その他の資産	27,366	純資産の部	
投資有価証券	678	株主資本	312,536
長期前払費用	6,628	資本金	10,000
差入保証金	16,740	利益剰余金	302,536
繰延税金資産	3,265	利益準備金	2,500
その他	53	その他利益剰余金	300,036
		別途積立金	150,000
		繰越利益剰余金	150,036
		純資産合計	312,536
資産合計	1,909,270	負債純資産合計	1,909,270

注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

時価のないもの 移動平均法による原価法

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 建物（建物付属設備を除く）・・・定額法
（リース資産を除く） その他・・・定率法

なお、主な耐用年数は、建物8～32年、構築物4～30年、車両運搬具6年、工具、器具及び備品5～6年であります。

無形固定資産 自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率に基づき、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当期に見合う分を計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

4. 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

なお、資産に係る控除対象外消費税等は、発生事業年度の期間費用として処理しております。

(当期純損益金額)

143,282 千円